

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 吉田 節美  
幹事 石黒 正則  
会報・雑誌委員長 大 口 弘 和

No. 4

## ロータリーの夢を追い続けよう

## FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998～99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

### きょうの例会

第769回 平成10年 8月 4日 (火)

クラブフォーラム  
会員増強副委員長

### 先週の記録

第768回 平成10年 7月28日 (火)

雨

#### ◆“奉仕の理想”

#### ◆“黙 想” ～ 公 正 ～

#### ◆出席報告

会 員 72(65)名 出席 52名

出席率 80.00%

前々回 7月14日 (修正出席率) 100%

#### ◆ビジター紹介

1名

#### ◆ゲスト紹介

青少年交換学生	竹内 裕子 <sup>ユウコ</sup> さん
”	母 竹内 慶子 <sup>ケイコ</sup> さん
青少年交換学生	アナパウラさん
ホストファミリー	松居 敬子 <sup>ケイコ</sup> さん
”	日比野栄子 <sup>エイコ</sup> さん
”	日比野修子 <sup>ユウコ</sup> さん

◆ニコボックスは紙面の都合上、次回掲載致します。

### 石黒幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブ奉仕委員会を開催致しますので担当の方はお残り下さい。
2. ロータリーの友8月号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

### 中根社会奉仕委員長よりお願い

財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターより、普及運動と国連支援募金運動の協力の呼びかけがきております。昨年は全国で5000万円の浄財を国連に寄付したそうです。この「ダメ。ゼッタイ。」キャンペーンは麻薬乱用をなくそうというものです。

具体的には募金箱を例会毎に受付に置きますので、ご協力をお願い致します。

### 小山国際奉仕委員長より青少年交換学生紹介

ガバナー事務所より7月17日のパプアニューギニアでの災害義援金の依頼があり、会長、幹事と相談し、特別基金より10万円協力する事に致しましたので、ご報告させていただきます。

さて、竹内 裕子さんは現在、県立豊明高校二年生で、来月8月20日よりアメリカのワシントン州シルバードイルRCのホストで一年間留学されます。場所はシアトルから一時間程のところだそうです。

明るく、しっかりしたお嬢さんですので、きっちりつばな成果をおさめて一年後にお帰りになる事と思います。もしお近くにお出掛けの方は、住所を伺っておりますのでご連絡お願い致します。

### 竹内裕子青少年交換学生挨拶

こんにちは。

私は今、紹介していただいた竹内裕子です。

私はロータリー青少年交換留学プログラムを学校で知りました。幼い頃からの外国へのあこがれから、留学できればあと考えていた私にとって、本当によいチャンスが来たのだと思いました。本当に行くことが決まった一年前から、ずっとわくわくしながら期待と不安で今まできました。出発まで、残り3週間というこの時期まで来たのが、本当に信じられません。

私が行くSilverdaleという所は、山や森や川など豊かな自然に囲まれたとても美しい町だと聞いています。私はアメリカのロータリークラブの委員長さんやカウンセラーの方やホストファミリーの方たちと手紙のやり取りをしました。本当にみなさんよい方たちで、早く会えるのを楽しみにしています。

この留学で私は、私から見た今の日本の状況を教えたり、日本の文化と一緒に考え、改めて日本について考える機会にしたいと思っています。

また外国の人々と接したり、外国の文化や自然に触れたりし、多くのことを学び視野を広げたいです。また自分を見つめ直す機会にもしたいです。

そして、将来の夢のために、英語をもっと身近なものにし、(英語を)日常会話として使えるようにしたいです。少しでも多くの体験をし、社会に出たときにそれを生かせれば良いと思っています。

本当に今は、楽しいことを想像し、私のうれしそうな顔を空想するのが日課になっています。アメリカでやっていけるのか不安にならない自分にとっても心配しています。

このロータリークラブの交換留学プログラムの主旨に基づき、日本の若き親善大使としての役割を果たし、たくさんのよい体験談を持って日本に帰ってくるつもりです。

本当にこのようなすばらしい機会を与えて下さったロータリーの方々から感謝しています。ありがとうございました。



“会長より竹内さんに激励の花束を”

### 吉田(節)会長挨拶

かつて右も左も解らない全くの新米のロータリアン時代新入会員がどうしてもさけて通れない関門として“私の職業紹介”と云う卓話を30分間やらなければならないと云う事がありました。その時私の職業として接着剤の話をした記憶がありますが我々の業とする職業も時代と共に進歩し、NASAから発射された宇宙連絡船スペースシャトルが当時大変な話題を提供しましたが現在では航空宇宙分野のみならず非ゆる先進技術の分野に接着剤が応用され又逆に我々の身近な所でも数多く利用され人々の生活の中に入り込んで来た事が確認されます。

人類の歴史を辿って見ますと紀元前7000年にさかのぼりエジプトのピラミッドを始め色々な方面に接着剤が使用されて居ると云われ、その歴史は大変古いものであります。

系統的に見ますと第1世代から第4世代と4世代に分類することが出来ます。第1世代はその殆どが天産物が主体でありアスファルトを始め石灰、モルタル、にかわ、澱粉、天然ゴム等の時代でありました。昔から糊と云えば澱粉のりとゴム糊が代表的であり接着と云うより庶民的なイメージの糊と云った方が似合っています。第2世代は戦前の世代になつかしい、野口雨情の作詩の童謡“青い目の人形”で有名なセルロイドの原料とトロセルローズが接着剤と応用されセメダインCとして発売されプラモデルの組立て等に使用された方もあると思います。そして第3世代はホットメルト接着剤の時代となり、現在は第4世代に入って居り構造用接着剤又はエンジニアリング接着剤とも云われてその応用範囲が拡大して居ります。

では次の世代の接着剤とは云いますと予想されるその姿は地球環境に配慮したものになるに違いありません。併し乍らそれを容易にする技術開発など未だ未だ課題は多くある様であります。

### ◆講演 “私の仕事”

会員 本山 孝君



本日は私の仕事ということで保険会社についてお話をさせていただきます。

勤務しております保険会社は皆様が身近で一番ご存じなのは、ニッセイオバチャンとい

われるセールレディだと思います。これが保険会社の本業であり、私も入社以来、本部・現場を含め販売の(営業)世界一筋に生きてまいりました。しかし、融資・株式・システム・企画・事務関係等もあり、この面白い営業を知らずに定年を迎える人間も数多くいます。

私が生きてきた営業の世界は、目標があり、大変楽しいものですが、職員とのふれ愛、お客様との出会いが数多くあり、最も生き甲斐を感じております。私は、「縁があって縁を活かす」という言葉が大好きでして、東海地区は初めてですが、出会いのチャンスを多く活かし、ロータリアンとして成長したいと思っております。

### “伊良湖岬の鷹”

会員 山田 壽勝君



大正12年生まれの75歳、<ヤマダトシカツ>と申します。石炭商の二男坊として名古屋に生まれ、父親より「学校だけは出してやるから」といわれまして、名

古屋大学の旧制大学院を修了しました。専門は機械工学です。43年間名古屋で過ごし、仕事の都合で豊田市に21年、蒲郡市に11年単身赴任をし、32年ぶりで名古屋に戻ってまいりました。従って、東西両三河の風土と人々との馴染みが深く、三河地区の巨大産業から地場産業にいたるまで、風土と住民とのかかわりの深いことをよく存じております。

本日は、三河の人々と自然を愛する穏健中正な一名古屋人として、西三河の香嵐溪や東三河の鳳来寺とともに有名な伊良湖岬につきまして、環境保全の立場から、古来よりとくに「鷹見の名所」として名高い伊良湖岬のお話をさせていただきたいと思っております。

手作りのプリントを用意しましたので、御参考までに御覧くださいませ。

(内容については山田さんよりプリントをご用意いただきましたので割愛させていただきます。)

### ◆次回例会(8月18日)

創立16周年例会

“16年を顧みて、20年に向けて”

菊池昭元歴代会長